

サッカーの英語
—*Oxford English Dictionary*に追録された語彙

Football Lexicon added to *the Oxford English Dictionary*

田 中 芳 文
(地域文化学科)

キーワード：サッカー，語彙，*Oxford English Dictionary*

1. Prolog

カタールで 2022 FIFA World Cup が開催される直前, 英国 BBC と米国 CNN が次のように報じた(以下, 用例中の太字は田中による)。

Phrases coined by former Chelsea boss Jose Mourinho and ex-Manchester United manager Sir Alex Ferguson are among two of 15 new additions to the Oxford English Dictionary.

As managers, Sir Alex Ferguson and Jose Mourinho won dozens of trophies and now they can claim another accolade because two of their famous phrases have made it into the Oxford English Dictionary (OED).

-BBC, 5 October 2022

Now, the linguistic ingenuity of two of the most influential coaches in modern football – Alex Ferguson and Jose Mourinho – have been officially recognized by the Oxford English Dictionary (OED).

Ferguson’s phrase “**squeaky bum time**” and Mourinho’s “**park the bus**” comment were two of 15 football-themed OED additions ahead of the World Cup in Qatar later this year.

-CNN, October 5, 2022

サッカー界で有名な 2 人の指導者に由来するフレーズなど, 15 の語が *Oxford English Dictionary (OED)* に新たに追加されたことを伝えるものである。

OED のウェブサイトから Updates (September 2022) で確認すると, 厳密には, 新語として追加された “New word entries” が 8 つ, 従来は複合語 (compound) や派生語 (derivative) であったが新たに見出し語となった “New

sub-entries”が 5 つ、新たに意味が追加された “New senses”が 5 つの、合計 18 である。

サッカーの英語表現については、これまで田中 (2023a), 田中 (2023b), 田中 (2024)で検討してきた。本稿では、2022 年 9 月に *OED* に追加された語を取り上げて検討する。

2. *OED* に 2022 年 9 月追録された語

(1) **Cruyff turn**

ボールをパスすると見せかけてすぐにボールを軸足の後ろで引いて反転し、逆方向へボールを運んでディフェンダーをかわすテクニック。オランダのサッカー選手・監督 Johan Cruyff (1947-2016)に因む冠名用語(eponym)である。*OED* の初出年は 1981 年だが、1974 年に西ドイツで開催されたワールドカップで Cruyff が披露した。*Cambridge Dictionary* や *Collins Dictionary* も収録している。

“The **Cruyff turn**”, when he bamboozled Sweden defender Jan Olsson with a touch of football ballet, allowed him to drag the ball behind his standing leg with the inside of his foot. -BBC, 25 March 2016

(2) **false nine**

得点をするという本来の役割よりも、しばしば中盤(midfield)にまでかなり下がってプレーすることで、味方が攻撃を組み立てるための創造的なプレーにかかわり、他の選手が攻撃に参加するためのスペースを与えるタイプのセンターフォワードを指す。あるいは、そのような選手のポジション。センターフォワードは伝統的に背番号が 9 のユニフォームを着用することから、文字通りは「偽の 9 番」ということ。初出年は 2009 年(*OED*)。 *Collins Dictionary* も収録している。

Jurgen Klopp has decided he always wants to use a **false nine** between his wide forwards. -BBC, 2 May 2023

(3) **gegenpressing**

相手チームにボールを奪われるとすぐに強力なプレッシャーをかけるプレススタイルを指す名詞である。敵陣深く入ったところでさえも、できるだけ早くボールを奪い返し、相手チームがボールを保持してゲームを支配することを防ぎ、相手にとって危険な位置でのミスを引き出そうと試みる。ドイツ語

Gegenpressing の借用で, *gegen-* ('against') + *Pressing* ('pressing game' の短縮) から。大文字で始めて **Gegenpressing** となることもある。初出年は 2012 年で, “**Gegenpressing system**” のように修飾語(modifier)として使われたもの。ドイツ人プレーヤーで監督の Ralf Rangnick (1958-) が生みの親と言われることが多い。同じ意味で使われる名詞の **gegenpress** も追加されている。**gegenpressing** の短縮からで, 初出年は 2013 年である(*OED*)。

名将 Jurgen Klopp (1967-) もこの戦術で有名である。

“Klopp brought his philosophy of heavy metal football, **gegenpressing**, he changed Liverpool's way of being,” said Coady.

-BBC, 29 January 2024

(4) outfield

ピッチ(pitch)内の自陣のゴール, または相手チームのゴールから離れたエリアのこと。初出年は 1885 年。現在は, 主にゴールキーパー以外の選手を指す際の修飾語として使われる。また, ゴールキーパー以外の選手を集合的に指すこともある。こちらの初出年は 1988 年(*OED*)である。

英和辞典は, 「[the ~]【野】 外野; [《英》 単数または複数扱い] 外野手《全体》」(『コンパスローズ英和』)や「『野球・クリケット』 [the ~] 外野; [単数・複数扱い] (集合的に) 外野手」(『ジーニアス英和 6』)のように他の競技の場合しか示していない。

Room (2010)は, サッカーで, **outfield player** で収録している。この場合, アメリカ英語では **outfielder** とも呼ぶ(Harves 2023)。

But the goalkeepers, who rarely head the ball, did not develop dementia as often as the **outfield** players. -BBC, 17 March 2023

(5) over the top

OED には, 2022 年 9 月にスポーツのコンテキストで使われるものとして, 副詞は “up and over the top of a person or thing; over the head of an opposing player” の意味が追加された。初出年は 1969 年。形容詞はしばしばハイフンの付いた **over-the-top** で, “that goes over the top of a person or thing (esp. an opposing player)” の意味が追加された。初出年は 1927 年である。後者の 2022 年の用例 “**over-the-top ball**” はサッカーのものである。

ボールの上を越えるようなタックル, つまり相手選手を負傷させる危険性のあるような激しいタックルを指して使われる(Room 2010)。故意に怪我をさせ

ようとスパイクの裏のスタッドを上に向けるようなタックルである(Leigh & Woodhouse 2006)。

副詞の場合は、動詞 *go* を伴って **go over the top** となることが多い(LETF)。

The Ghanaian's studs raked into Hamann just below the knee as he **went over the top** for a loose ball and Hamann did not hide his disappointment afterwards. "That is the worst tackle I have ever received," he said, "and he has not apologised either."

-The Guardian, 7 December 2005

アメリカ英語では、クロスバー(crossbar)を越えたシュート、あるいは守備陣の頭上を越えるボールを入れる攻撃スタイルを指す(Harves 2023)。

(6) Panenka

ペナルティーキックで、ゴールキーパーが左右いずれか一方に飛んだ瞬間、ゴール中央に軽くチップキックすること。初出年は 2001 年。**Panenka penalty** とか **Panenka chip** のように修飾語として使われることが多い。1976 年の UEFA 欧州選手権(UEFA European Championship)決勝で、このキックを使ったチェコスロバキア代表の Antonín Panenka の名前に由来する(*OED*)。

Star player Hakimi stepped up and was the coolest man under the most intense pressure, dinking his penalty — a '**Panenka**' — straight down the middle as Morocco surged into the quarters.

-BBC, 6 December 2022

(7) park the bus

自陣ゴール近くにゴールキーパー以外の選手の大多数を配置し、攻撃する意図をほとんど示さないといった非常に守備的な試合運びをするという意味である。否定的な含意(connotation)があることが多い。ポルトガル語の *estacionar o autocarro* から。初出年は 2004 年(*OED*)。文字通りは「(ゴール前に)バスを駐車する」である。*Cambridge Dictionary* は収録している。*Collins Dictionary* はイギリス英語とするが、サッカーに限定せず、スポーツ一般で使われるとしている。

2004年11月、チェルシーFCを率いていたポルトガル出身の José Mourinho 監督が、ホームでトッテナム・ホットスパーFCに0対0の引き分けに持ち込まれた際に、相手チームの守備的な試合運びに言及して、"As we say in

Portugal, they brought the bus and they left the bus in front of the goal.”
と語ったのが起源である(Bendelow and Kidd 2015, Walker 2014, Williams
2018)。

The draw keeps Manchester United’s Champions League hopes in their
own hands as they approach the final few hurdles this season, and this
wasn’t the first time that Mourinho has “**parked the bus**” in order to
get what he wants. -The Mirror, 28 April 2017

(8) **rabona**

軸足の後ろでクロスした足でボールをキックする蹴り方。あるいはそのよう
して蹴るパス、クロスボールなど。一般的ではない蹴り方である。**rabona cross**
や**rabona goal**などのように修飾語として使われることが多い。初出年は2005
年。**Rabona**とも書く。スペイン語の *ranbona* から(OED)。一般の英語辞典で
も *Cambridge Dictionary* や *Collins Dictionary* は収録する。

Surely 99% of professional footballers will go their entire careers
without scoring a '**rabona**' — yet, remarkably, Lamela has two. That
we know of, anyway. -BBC, 14 March 2021

(9) **row Z**

口語で、劇場やスタジアムなどの座席の最後尾を指す語であるが、特にスポ
ーツのサッカーで、スタジアムの高くてかなり後ろにあると考えられるエリア
を指す。強烈ではあるが不格好なクリア、まったく違う方向へ向かったシュー
トなどをユーモラスに表現するもの。座席をアルファベット順に表示する慣例
で *Z* が最後にくる。北米では使われない言い方。初出年は1943年(OED)。

John Stones recalls the last time he – in football parlance – ‘put the
ball in **row Z**’; when he had to simply clear it, no nonsense, into the
stands. -The Telegraph, 2 September 2016

The stepover king was shown tripping over his feet attempting the skill
while earlier he had sent a tempting cross into **Row Z**.

-The Sun, 14 Jun 2020

(10) squeaky bum time

もともとは、そして主にスポーツのコンテキストで、特に緊迫した期間、特に試合あるいはイベントのクライマックスにつながる期間を指す。初出年は2003年。英国のサッカーチーム、マンチェスター・ユナイテッド FC の監督を務めていた Sir Alex Ferguson の造語。英国プレミアリーグのシーズン終盤、タイトルのかかっていたチームについて語った際の表現。プラスチック製のベンチに座っていたスタッフが落ち着きなく動くときに生ずる音を表したものとされる(OED)。bum は主にイギリス英語で「尻」を意味するスラング(Thorne 2014)。文字通りは「キーキーと尻がきしる期間」である。もともとはシーズン中のある期間を指していたが、個々の試合中の時間帯を指すこともある(Bendelow and Kidd 2015)。一般の英語辞典では、Cambridge Dictionary と Collins Dictionary が収録した。サッカーだけでなく、クリケットやラグビーでも使われるようになった(Carrol 2021)。

It's **squeaky-bum time** for David de Gea because Ten Hag expects his goalkeeper to be proactive both in and out of possession, acting as part of the build-up when their team has the ball and coming off his line to clear threatening through-balls. -BBC, 30 March 2023

しかし、当時のインタビューを聴きなおしてみても、グラスゴー訛りの強い Ferguson が“**squeaky-bum time**”と言ったのか“、それとも **squeeze-your-bum time**”と言ったのか、判断が難しいという(Taylor 2007)。

(11) tiki-taka

非常に正確なショートパスとボールの保持を重視することを特徴とするプレースタイルのことである。2000年代後半から2010年代初めにかけて、スペイン代表やスペイン国内のクラブ、特にFCバルセロナなどに典型的なプレースタイル。ただし、それ以前にも類似のスタイルを使う別のチームは存在していた。初出年は2007年。スペイン語の *tiki-taka* から(OED)。プレーのリズムを模倣したもの(Collins Dictionary)。Cambridge Dictionary も収録する。

スペイン人のコメンテーター Andrés Montes (1955-2005)が2006年のワールドカップでスペイン代表のプレースタイルを表現して知られるようになったと考えられている(Bendelow and Kidd 2015)。また、スペイン出身でフィジカルを重視するサッカー指導者の Javier Clemente が、FCバルセロナのプレースタイルに異を唱えた嘲りの言葉(a term of derision)として口にした表現とも言われている。英国で使われた似た語に **tippiy-tappy** がある(Cox 2018)。

Guardiola is known for **tiki-taka** football, impressive possessional play and having the best players in each position. -BBC, 4 August 2022

(12) top-scoring

形容詞で、スポーツの試合でほかの参加者よりも多く得点するという意味。あるいはもっと一般的に得点や評価されるイベントでも使われる。もともとは、第二次世界大戦(1939-45)中に最も多くの敵機を撃墜した飛行大隊(squadron)あるいはパイロットを指して使われた。この意味での初出年は 1940 年。スポーツでの初出年は 2004 年(OED)。

Sports Brief highlights the **top-scoring** teams across Europe's top five leagues during the ongoing 2023/24 campaign.

-Sports Brief, February 13, 2024

(13) total football

ゴールキーパー以外のすべての選手が試合中に必要に応じてどんなポジションでもこなすことができる攻撃のスタイルを意味する。選手たちがポジションを交代し、他の選手が空けたスペースを埋めて、チーム全体の組織を保持しながら、流動的に動き回る。初出年は 1972 年。1970 年代初期にこのプレースタイルが台頭したのは、オランダのクラブチーム、アヤックスやオランダ代表チームと密接に関係しているが、それ以前にも類似のシステムを使ったチームは存在した(OED)。

This version of **total football** looks like organised chaos, but it allows creativity and risk taking at previously unimagined levels in the British game. -BBC, 17 January 2024

(14) trequartista

ミッドフィールダー(midfielder)とストライカーのあいだのスペースでプレーをする攻撃的な選手で、その最も重要な役割はチームメイトが得点する機会を創出することである。初出年は 2001 年。4 分の 3 を意味するイタリア語 *trequartista* の借用(OED)。ピッチを横割りに 4 分割した後ろから 3 つ目の敵陣の浅いゾーンを指している。 *trequarti* (4 分の 3) + *--sta* (-ist) から。

The **trequartista**, perhaps better known to modern UK football fans as

the “number 10”, is often the most creative player on the pitch.

-BBC, 14 March 2023

Zaniolo is a **trequartista**, he is someone who plays in the hole in attacking midfield.

-BBC, 13 December 2018

(15) zonal marking

スポーツ(主にイギリス英語, もともとはサッカー)で, 防御するために, ひとりの選手がピッチ上の特定のエリアに割り当てられる守備的なプレーシステムのことである。初出年は 1958 年。**man-marking** と対照的に使われることが多い(*OED*)。

Clement credits a switch from man to **zonal marking** and admitted Guardiola was the inspiration behind it.

-BBC, 10 March 2017

3. Epilog

BBC や CNN, あるいはそのほか多くのメディアでも報道されたこのニュースに対してすぐに反応した英国の辞書学者(lexicographer)の Susie Dent は, 次のように述べて, サッカーの語彙が *OED* に収録されることの意義を強調した。

..... this week the Oxford English Dictionary (OED) included in its quarterly update other donations from the beautiful game, including Sir Alex Ferguson’s “squeaky bum time” and José Mourinho’s “park the bus”.

The inclusion in the OED is significant – unlike strictly current dictionaries, which include new words that are bubbling under as well as those that have broken decisively through the surface, the Oxford English Dictionary is the grand dame of all lexicons, charting the shifting meanings of our words from their beginnings right up to the present day.

Once a word enters its pages – virtual or otherwise – it will never go out, which means that the process for including any new coinage is rigorous and considered. The fact that these footballing neologisms have been included means they have shrugged off any fly-by-night status and are here for the duration (Dent 2022).

注

用例は次のウェブサイトからで、最終アクセス日は、すべて 2024 年 3 月 1 日である。

BBC = <https://www.bbc.com/sport/football/>

CNN = <https://edition.cnn.com/>

The Guardian = <https://www.theguardian.com/football/>

The Mirror = <https://www.mirror.co.uk/sport/>

The Telegraph = <https://www.telegraph.co.uk/football/>

The Sun = <https://www.thesun.co.uk/sport/football/>

Sports Brief = <https://sportsbrief.com/football/>

参考文献

Cambridge Dictionary = *Cambridge Dictionary Online*. Cambridge: Cambridge University Press. 2024.

(<https://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/>)

Collins Dictionary = *Collins Dictionary Online*. Glasgow: CollinsDictionary.com, HarperCollins Publishers. 2024.

(<http://www.collinsdictionary.com/dictionary/english>)

OED = *The Oxford English Dictionary Online*. Oxford: Oxford University Press. 2023. (<https://www.oed.com/>)

『コンパスローズ英和』 = 『コンパスローズ英和辞典』 研究社. 2018.

『ジーニアス英和 6』 = 『ジーニアス英和辞典』 第 6 版. 大修館書店. 2023.

Bendelow, Ian and Jamie Kidd (2015), *Bendelow and Kidd's Dictionary of Football*. Oakamoor, Staffordshire: Oakamoor Publishing.

Carrol, Gareth (2021), *Jumping Sharks and Dropping Mics: Modern Idioms and Where They Come From*. Winchester, Hampshire: Iff Books.

Cox, Michael (2018), *The Mixer: The Story of Premier League Tactics, from Route One to False Nines*. London: HarperCollinsPublishers. (田邊雅之 訳 (2019), 『プレミアリーグ サッカー戦術進化論』 二見書房)

Dalzell, Tom and Terry Victor (2013), *The New Partridge Dictionary of Slang and Unconventional English*. 2nd edition. 2 vols. London and New York: Routledge.

Dent, Susie (2022), "How Alex Ferguson and football in general have changed the English language," *The Scotsman*, 11th October 2022.

(<https://www.scotsman.com/news/opinion/columnists/how-alex-ferguson-and-football-in-general-have-changed-the-english-language-susie-dent-3873645>)

Harves, John C. (2023), *The Ultimate Soccer Dictionary of American Terms*. 2nd edition. Olney, Maryland: CoachingAmericanSoccer.com.

Leigh, John and David Woodhouse (2006), *Football Lexicon*. London: Faber and Faber.

Room, Adrian (2010), *Dictionary of Sports and Games Terminology*. Jefferson, North Carolina: McFarland & Company, Inc.

Taylor, Daniel (2007), *This is the One. Sir Alex Ferguson: The Uncut Story of a Football Genius*. London: Aurum.

Throne, Tony (2014), *Dictionary of Contemporary Slang*. 4th edition. London: Bloomsbury.

Walker, Dan (2014), *Dan Walker's Football Thronkersaurus*. London: Simon & Schuster.

Williams, Tom (2018), *Do You Speak Football? A Glossary of Football Words and Phrases around the World*. London: Bloomsbury Sport. (堀口容子 訳 (2022), 『DO YOU SPEAK FOOTBALL? 世界のフットボール表現事典』 イースト・プレス)

田中芳文 (2023a), 「The Beautiful Game の言語を探る— 英語メディア報道におけるサッカー・ジャーゴン」『島根県立大学松江キャンパス研究紀要』第 62 号, pp. 97-104.

_____ (2023b), 「英語メディア報道におけるサッカーのクリシェ」『人間と文化』第 6 号, pp. 79-88.

_____ (2024), 「サッカーの言語—イギリス英語とアメリカ英語の語彙的差異」『島根県立大学松江キャンパス研究紀要』第 63 号, pp. 93-101.

参照サイト

LETF = Learning English Through Football (<https://languagecaster.com/>)